

第7章 みんなでつくる環境首都

第1節 環境教育・環境学習の充実

1 環境教育・環境学習の充実

(1) 取組

①「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」の開設

「環境首都とくしま」の実現を目指し、地球温暖化

対策をはじめとした各種環境施策や環境活動を一元的にバックアップするとともに、環境学習や環境教育を総合的にサポートするための「産・学・民・官」の連携・協働による本格的な環境活動拠点として、平成22年4月に「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を開設し、このセンターを中心に、県民総ぐるみによる環境活動や環境学習の推進に取り組んでいます。

環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)の概要

開設時期	平成22年4月1日
開設場所	徳島市東沖洲一丁目23番地
面積・施設等機能	1階 事務室75.75m ² , 会議室16.87m ² 2階 会議室45.9m ² 事務所, 会議室, 展示スペース, 周辺は環境学習のフィールド
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県と特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センターが協働で運営 「環境活動実践センター機能」「環境学習サポートセンター機能」, 「地球温暖化防止活動推進センター機能」の3つの機能を一箇所に集約して, 環境学習サービスのワンストップ化の実現 子どもから高齢者まで, すべての世代が, 気軽に環境について学べることや, あらゆる方々が, 環境を合い言葉に, 「集い・語らい・共に行動する」ことができる場を目指す。
環境活動実践支援機能	<p>産・学・民・官が協働で実施する様々な環境活動・環境施策の企画から実践までを幅広く支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会実験や実証実験など実践に結びつく調査・研究, 環境NPO等の支援・交流
環境学習サポートセンター機能	<p>学校や地域における環境学習・教育を総合的・体系的に推進するとともに, 地域環境力を高めるための人づくりを支援するなど, 環境学習・教育を人材・知識面等から総合的にサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> とくしま環境学講座等の各種環境関係講座の開催 環境関係の図書, DVDソフト, 資料, 展示パネルの貸出 地域や職場, 学校での環境に関する講座, セミナー, イベント等に専門的知識を備えた環境アドバイザーの派遣 インターネット上のウェブサイト「とくしま環境首都学校」において, 県内で実施される各種環境関係イベント, 講座等を紹介
地球温暖化防止活動推進センター機能	<p>本県における地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」, 「調査・分析活動」, 「情報提供」, 「民間団体の活動支援」等を総合的に支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止活動推進員等の活動支援 家庭部門や民生業務部門での温室効果ガス削減活動を支援 「クリーンエネルギーの導入」「低炭素交通システムの推進」「カーボンオフセットの推進」等の活動支援 <p>※地球温暖化対策推進法に基づき, 地球温暖化対策に関する普及啓発等の推進主体として「特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センター」を地域・地球温暖化防止活動推進センターに指定。</p>

②「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づく取組

環境保全に対する県民意識を高め、環境保全活動への参加を促していくためには、長期的な視野に立った環境教育や環境学習の推進が必要です。本県では、県民・事業者・行政が連携・協働して環境学習を総合的・体系的に進めるため、「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」を平成17年12月に策定しました。

県としては、この方針に基づき、平成27年度におい

ては次の施策を実施しました。

(ア) 環境学習実践モデル事業

「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」の方針を踏まえ、平成19年3月に作成された「とくしま環境学習プログラム」を活用したモデル的な取組に対し、支援を行いました。

県内の4団体が「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」で示された本県で重点的に取り組むべき分野である「ごみ」「生きもの」「水環境」「太

陽（エネルギー・地球温暖化）」をテーマに「とくしま環境学習プログラム」を活用した環境学習を行い、「とくしま環境学習フォーラム」（平成28年1月開催）でその成果を発表しました。



とくしま環境学習フォーラム

（ウ）こどもエコクラブ事業

環境省が進める「こどもエコクラブ事業」は幼児（3歳）から高校生まで誰でも参加できる環境活動です。参加した子どもたちは、自然観察や調査、リサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に自由に取り組みます。平成27年度には県内で3クラブ49人が組織されて、各地域で活動を展開しました。

（エ）佐那河内いきものふれあいの里の自然環境学習

佐那河内いきものふれあいの里は、指定管理者であるNPO法人大川原が自然観察指導員による自然環境学習を実施しています。その内容としては、野鳥の観察会、低山ハイキング、動植物の観察など様々なメニューがあります。また、小中学校や民間団体などに対する環境学習も行っています。

表4-1-1 自然観察会等の実施状況

学習内容	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
自然観察会	31	658	28	505	33	575
団体等観察会	54	2,374	23	812	26	837
計	85	3,032	51	1,317	59	1,412

（イ）環境首都 あどふと・エコスクール

互いに連携・協働しながら主体的に行動する人材の育成のため、道路や河川で行われているアドプト（養子縁組）方式を学校の環境学習活動に適用し、「地域の人づくりを地域の企業等が支える」という考えのもと、事業者・民間団体が「里親」となり、「養子」である学校の環境学習活動を支援する制度「環境首都 あどふと・エコスクール」を平成19年度に創設しました。平成27年度は平成26年度に引き続き城西高等学校と大塚製薬・大塚化学・大鵬薬品工業の3社とが養子縁組の協定に基づき、3社からの人材派遣や教材費等の支援により、また、袋井用水を美しくする会や保健製薬環境センターの指導を受け、袋井用水の水質調査を行い、袋井用水の現状についての学習を効果的に実施することができました。



環境首都 あどふと・エコスクールでの出前授業

（オ）環境アドバイザーの派遣

環境に関する専門家を環境アドバイザーとして任命し、県民や事業者の皆さんが自主的に実施する講演会や学習会、地域活動などに派遣しています。平成27年度には40名の方を環境アドバイザーとして任命し、60回派遣しました。



環境アドバイザーによる研修風景

表4-1-2 平成27年度徳島県環境アドバイザー派遣状況

年月日	派遣場所	内容	参加人数
平成27年4月14日	徳島市立八多保育所	ネイチャーゲーム	13
平成27年4月26日	徳島中央公園	自然環境についての学習	16
平成27年5月13日	阿南市立新野幼稚園	五感を通して自然と触れあう	15
平成27年5月15日	吉野川干潟	環境保全の大切さを知る	140
平成27年5月19日	徳島市立八万東保育所	ネイチャーゲーム	23
平成27年5月20日	阿南市立中野島保育所	自然の中で、楽しくあそぶ	18
平成27年5月21日	徳島市立国府保育所	ネイチャーゲーム	33
平成27年5月25日	明星保育所	ネイチャーゲーム入門	23
平成27年5月26日	小松島市総合福祉センター	日常生活の営みで気をつけたい行動へのメッセージ	93
平成27年5月26日	ひらだにこども園	自然と触れあう楽しさを知る	13
平成27年5月30日	上板町農村環境改善センター	身近な環境問題と消費者としての実践活動	70
平成27年6月1日	阿南市立宝田幼稚園	自然に触れ、関心をもつ	30
平成27年6月2日	徳島中央公園	ネイチャーゲーム	30
平成27年6月3日	国府保育所 在宅育児家庭相談室「愛藍」	ネイチャーゲーム	25
平成27年6月6日	徳島市立加茂名保育所	楽しみながら環境への意識を感じさせる	28
平成27年6月6日	あすたむらんど徳島	緑のカーテン・ゴーヤの育て方について	30
平成27年6月9日	つるぎ町就業改善センター	消費生活と環境（エコ）問題	46
平成27年6月10日	羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	26
平成27年6月10日	正法寺川 みどりの広場	野鳥観察の指導	97
平成27年6月12日	阿南市立大野小学校	ネイチャーゲーム	18
平成27年6月17日	阿南市立富岡幼稚園	園庭でのネイチャーゲーム	37
平成27年6月22日	羽ノ浦こぼと保育所	ネイチャーゲーム	20
平成27年6月26日	なかなかの森	なかなかの森環境教育	23
平成27年6月30日	徳島市立内町保育所	自然に興味関心がもてるような内容	42
平成27年7月6日	羽ノ浦公民館	風呂敷の包み方を中心にエコについて	40
平成27年7月10日	阿南市立大野小学校	ネイチャーゲーム	18
平成27年7月14日	徳島市役所	ごみ減量とリサイクルについて	105
平成27年7月15日	羽ノ浦すみれ保育所	身近な自然に親しむ	19
平成27年7月15日	佐那河内保育所	ネイチャーゲーム	30
平成27年7月18日	北島町立図書館	植物観察の指導、標本の作り方	43
平成27年7月31日	松茂町保健相談センター	消費生活と環境について	35
平成27年9月15日	羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	29
平成27年9月16日	佐那河内保育所	ネイチャーゲーム	30
平成27年9月30日	阿南市立富岡幼稚園	園庭でのネイチャーゲーム	36
平成27年10月3日	吉野川住吉干潟	生き物観察	142
平成27年10月8日	徳島市立津田保育所	子育ての楽しさや遊び	32
平成27年10月18日	徳島中央公園	自然観察（植物・昆虫）	18
平成27年10月24日	大塚製菓つるぎ山荘周辺	剣山周辺の自然観察	30
平成27年10月29日	吉野川市立川田西小学校	ネイチャーゲーム	28
平成27年11月4日	小松島市坂野小学校	子どもたちにできるエコ活動について	20
平成27年11月11日	阿南市立宝田保育所	ネイチャーゲーム	34
平成27年11月25日	藍住町正法寺川	野鳥観察	98
平成27年12月4日	阿南市立吉井小学校	ネイチャーゲーム	18
平成27年12月7日	吉野川河口土手	野鳥観察	65
平成27年12月9日	富岡東高等学校	水環境について	33
平成27年12月10日	徳島市洪野小学校	野鳥観察	32
平成27年12月17日	吉野川市立川田西小学校	ネイチャーゲーム	28
平成27年12月18日	徳島市丈六保育所	ネイチャーゲーム	34
平成28年1月12日	阿南市立新野幼稚園	ネイチャーゲーム	15
平成28年1月13日	羽ノ浦すみれ保育所	ネイチャーゲーム	18

年月日	派遣場所	内容	参加人数
平成28年1月15日	脇町老人福祉センター	消費者としての環境問題の学習	40
平成28年1月22日	明星保育所	ネイチャーゲーム	75
平成28年1月27日	徳島市立内町保育所	ネイチャーゲーム	16
平成28年2月1日	阿南市立吉井小学校	ネイチャーゲーム	18
平成28年2月13日	勝浦町住民福祉センター	日常生活に即した環境問題	100
平成28年2月17日	徳島市立八万保育所	ネイチャーゲーム	43
平成28年2月25日	徳島市立加茂名保育所	ネイチャーゲーム	12
平成28年3月8日	徳島市立丈六保育所	ネイチャーゲーム	33
平成28年3月9日	徳島市立津田保育所	子育ての楽しさや遊び	30

(カ) ビオトープアドバイザーの派遣

ビオトープの専門家をビオトープアドバイザーとして任命し、市町村・事業者及び各種団体等が開催するビオトープの保全・創出に関する学習会や説明会等に派遣し、ビオトープへの取組についての基本的な考え方を指導し、また地域の合意形成や具体的な企画立案等を効率的に進めています。平成26年度には14名の方をビオトープアドバイザーとして任命し、4回派遣しました。(派遣状況は第2部第4章第1節表4-1-3)

(キ) 環境学講座等の開講

環境首都とくしまの実現に向け、産学民官が連携・協働し、県民総ぐるみで環境活動に取り組むため、その主体となる、環境に関する高い意識と行動規範・実践力を持つ人材を養成するため、県民を対象とした「とくしま環境学講座」を開講しました。(表4-1-3)

表4-1-3 平成27年度とくしま環境学講座開催状況

年月日	講座名	参加者数
平成27年7月19日～8月1日	とくしま環境学講座「親子環境学習」	122名
平成27年6月5日～11月25日	とくしま環境学講座「環境学習出前授業」	1,271名



出前講座

(2) 今後の取組

「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を中心に、平成17年12月に策定した「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づき、環境学習プログラムの普及や環境講座の開設な

どにより、環境学習を総合的・体系的かつ効果的にすすめるとともに、各主体の連携・協働を推進します。

また、環境アドバイザーやビオトープアドバイザーの派遣などにより、地域における環境活動を支援します。

さらに、「環境首都 あどぷと・エコスクール」などにより、実践的な環境学習活動を推進します。

併せて、県をはじめとした行政や、教育機関、環境団体、企業が実施する環境に関する各種講座や催しなどについて、一元的に情報を収集し、提供する仕組みづくりを行います。

2 学校における環境教育・環境学習の推進

(1) 現状

各学校においては、環境教育を教育目標に位置づけ、児童・生徒の発達段階に応じて、社会科、理科、家庭科などの各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通じて系統的・計画的に環境教育を行っています。

県としては、平成16年度から児童・生徒・教職員が一体となった継続的かつ自立的な環境保全活動を推進する本県独自の「学校版環境ISO」認証システムを構築し、「学校版環境ISO」の認証取得を推進することで、環境教育の充実を図ってきました。平成24年度からは、これまでの取組を家庭や地域に波及させていく「新学校版環境ISO」に移行を始め、平成27年度末に移行を完了しました。

また、地球温暖化対策の一環として、徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」の募集を行っています。

(2) 取組

①環境・エネルギー教育推進事業

(ア) 「新学校版環境ISO」認証取得の推進

平成24年度から移行した「新学校版環境ISO」では、従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動などに継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域に出向いて、環境美化活動や自然観察などの体験活動を積極的に行い、学校での環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的としています。

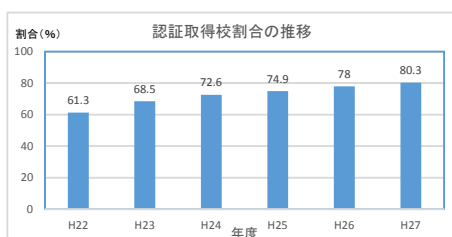
実施校は、必須項目（節電・ごみ分別・リサイクル活動）と、選択項目（①地域に広げる節電・ごみ分別

・リサイクル活動，②地域に出向き深める環境保全・環境美化に関する活動，③地域に関連したテーマを選び，深めていく環境学習活動，④その他運営委員会がふさわしいと認めたテーマによる活動）から1つ以上を選択し，地域や学校の状況に応じた取組を推進します。認定されると認定証（3年間有効）が交付されます。

平成27年度末には，小・中学校，高等学校，特別支援学校の80.3%の学校が「新学校版環境ISO」の認証を取得し活動をしています。



各学校における活動の様子



(イ) エコリーダー養成講座の開催（平成27年度）

「新学校版環境ISO」の認証取得を目指す学校の環境教育担当の教員などに対して，認証システムの説明や環境教育に関する実践事例集の紹介をするとともに，各学校における環境教育の実践について情報交換などを行いました。また，「ESD環境教育プログラムを考える」を表題として，持続可能な開発のための教育についての講演を行いました。（参加者数96名）



エコリーダー養成講座

(ウ) 環境・エネルギー教育発表会の開催（平成27年度）

「新学校版環境ISO」認証式，「環境・エネルギー教育推進事業」表彰式に引き続いて，美波町立由岐小学校と美馬市立江原中学校の2校が実践発表を行いました。

また，「地球のために今できること～教室から地域と地球を変える～」をテーマとして，学校は未来像を発信する拠点となり，教室から地域と地球を変えることができること等についての講演を行いました。

（参加者数 114名）



環境・エネルギー教育発表会

②徳島冬のエコスタイル関連事業

(ア) 徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」（平成27年度）

年の初めにあたり，次の世代を担う子供たちに，地球温暖化防止の大切さを考えてもらう契機とするため，児童・生徒から「地球温暖化防止」にちなんだ書き初め作品を募集しました。

優秀作品については知事賞等を授与するとともに，県庁1階県民ホールや徳島阿波おどり空港，徳島県立総合教育センターに展示し，県内外に発信しました。（応募作品数 5,043点）



徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」表彰式

(3) 今後の取組

「新学校版環境ISO」認証取得校の取組や環境教育に関する資料をホームページ等から情報提供することで，「新学校版環境ISO」認証取得をより一層進め，さらに学校での環境学習の学びを家庭や地域へ波及させていきます。

また，エコリーダー養成講座を開催し，環境教育の指導者の養成を通して，児童・生徒が環境問題の解決に向けて取り組む力を育成するとともに，実施校が取

組や成果を発表する場として、環境・エネルギー教育発表会を開催し、環境教育の推進を支援します。

さらに、徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」の募集や展示を通して、省エネ・省資源の取組をより広く呼びかけていきます。

3 循環型社会に向けた活動の推進

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の構築に向けて、国民一人ひとりの環境保全に係る意識の高揚を図るため、環境月間・3R推進月間に県民や事業者、各種民間団体の協力のもと、さまざまな行動を行いました。

(1) ごみゼロの日キャンペーンの実施

環境美化に対する意識を高めるため、平成13年度から5月30日の「ごみゼロの日」を中心に、「ごみゼロの日キャンペーン」を実施しています。関係機関や団体、事業所、学校に身近な場所での清掃活動と呼びかけ、平成27年度は251団体83,556人が活動に参加しました。

(2) 「買い物で発生するごみの減量化」の推進

消費生活スタイルを見直すことでごみ減量と循環型社会の形成を推進するため、平成27年4月に「はな・はるフェスタ」の会場でマイバッグ持参推進キャンペーンを実施するとともに、平成27年11月～12月に、マイバッグ持参によるレジ袋削減と呼びかける「とくしまマイバッグ持参キャンペーン」を人の集まるイベントや清掃活動に併せて実施しました。

また、平成27年5月に、徳島インディゴソックス球団のナイター試合において「インディ・ごみゼロナイト」として、エコ王子らによるマイバッグ持参推進とごみ分別ブース運営による啓発キャンペーンを実施しました。